



# はりうす

第8号 令和5年11月29日発行

☆ 教育目標 ☆  
○学習にはげむ子ども  
○礼儀正しい子ども  
○健康な子ども

【重点目標】  
目標に向かい学び合う  
児童の育成

## 明るい「あいさつ」のできる子に

校長 脇本 麻友美

今年も残すところ、あと一ヶ月あまりとなりました。今年は寒暖差が激しく、過ごしやすいつと感じる日が少なかった印象があります。また、インフルエンザが大流行しており、本校でも先日学級閉鎖を行いました。数年間のマスク生活で免疫力が下がっているのが原因の一つでは・・・という報道もあります。12月は旧暦で「師走」と言われるくらい慌ただしく毎日が過ぎていきます。子ども達はもちろん、私達大人も休養と栄養をしっかりと取り免疫力を高めることで、年末を健康に迎えたいものです。

さて、少し前のことになりますが、11月の全校朝会で「自分の生活を見直してみよう！」という内容で話をしました。その中の一つが「あいさつ」についてです。挨拶については、昨年度から折に触れ子ども達に伝えてきました。本校のほとんどの子ども達は、登校時・下校時、職員室の入り口で「おはようございます」「さようなら」と挨拶をすることが習慣となっています。この習慣は先輩から代々受け継がれてきている張碓小学校の素晴らしい伝統だと感じています。しかし一方で、他の場面では自分から進んで挨拶が出来る子はまだ少なく、「来校者に挨拶ができない」等、挨拶に対する課題があります。そこで、もう一步前進した挨拶を身につけてほしいと思います。

「相手に聞こえる大きな声で挨拶をしよう」

「されたら」ではなく「自分からしよう」

「お客様」にも挨拶しよう

どれも当たり前のことですが、子ども達には挨拶の意義や大切さを考え、挨拶をした時の心地よさを実感し、いつでも明るい「あいさつ」ができる子に育ててほしいと願っています。



アメリカの生物学者スワンソンは、「動物が生きていくためには欠かすことができないものに、空気、水、食べ物の三つがあるが、人間にはこのほかにもう一つ『コミュニケーション』が必要だ。」と言っています。人間は弱い動物であり、その人間が生きていくためには、互いに助け合ったり励まし合ったり、協力したりしなければなりません。こうした助け合いや協力し合うためには人と人とのコミュニケーションが必要だということです。そしてこのコミュニケーションで最も大切で基本となるものが「あいさつ」です。

挨拶は、人の心と心をつなぐ役割があり、よりよい人間関係を築く第一歩です。ぜひ、ご家庭でもお子さんと「あいさつ」について話題にしていただき、明るい挨拶が飛び交う、学校・家庭・そして地域でありたいと思っています。

## 第9回小樽子どもの詩コンクール 「優良賞」おめでとう！

10月21日（土）15時より、小樽経済センターにて、「第9回小樽子どもの詩コンクール」の表彰式が行われました。詩コンクールには、市内から六千点近い作品の応募があり、多くの作品の中から、5年生の松倉恋樹さんの「日本最古のお祭り」が優良賞に選ばれました。おめでとうございます！



## 第9回小樽音読カップ 「奨励賞」おめでとう！

11月18日（土）は小樽市民会館にて、「第9回小樽音読カップ」が開催されました。市内各小中学校から多くの児童生徒の参加がありました。張碓小からは、2年生の伊地知南月さんが低学年の代表として出場しました。「ミリーのすてきなぼうし」を音読し、「奨励賞」に選ばれました。おめでとうございます！



## 銭函中学校へ体験入学！

10月31日（火）午前中、6年生の子どもたちが銭函中学校の体験入学に参加してきました。この日は、市内の中学校が一斉に体験入学を実施しました。銭函中学校には、銭函小、桂岡小、張碓小の3校の6年生が集まりました。中学生から学校生活について説明を受けたり、授業の見学をしたりするなど、わずかな時間でしたが、来年4月から始まる中学校生活について知るよい機会となりました。



## 市立小樽図書館の出前授業

11月7日（火）4校時は、市立小樽図書館より図書館司書の加藤さんを講師としてお招きし、4年生の子どもたちに学習事典の使い方について、出前授業を行いました。はじめに、学習事典「ポブラディア」の使い方について、紙芝居形式で分かりやすく教えてくださいました。後半は、実際に学習事典「ポブラディア」を活用し、提示のあった事柄について調べる活動を行い、理解を深めることができました。



## 銭函中生徒が職場体験で本校へ

11月1日（水）は銭函中学校の生徒が本校にて職場体験を行いました。7名の生徒は3班に分かれ、3～5校時まで各教室に入りました。2年生の九九検定を行ったり、5・6年生の体育では、マットを器具室から出して準備を行ったりするなど授業のサポートを体験しながら、子どもたちと触れ合うこともできました。わずかな時間でしたが、今回の職場体験を通して、将来のことを考えるきっかけになればと思います。



## 10月に3名の転入生！

10月後半のわずか半月の間に3名もの転入生を迎えました。そこで、11月6日（月）の全校朝会にてみんなの前で自己紹介を行いました。転入してから2週間ほどがたち、子どもたちはすでに顔見知りになっていますので、緊張感というよりは、和やかな雰囲気の中での自己紹介となりました。転入から1か月が過ぎ、張碓小での学校生活にも慣れてきています。



## 張碓小学校公開研究会

～ ありがとうございます！

11月15日（水）は市内小中学校の先生方をお招きし、5・6年生教室で算数の公開授業を行いました。5年「三角形や四角形の面積」6年「並び方や組み合わせ」の学習でICTを活用している場面や友達と課題の解決方法について伝え合う様子等を見ていただきました。授業後にいただいた多くのご助言を今後の授業づくりに生かしていきます。



## 和紙の魅力について学びました！

11月16日（木）3～4校時は、3・4年生教室にて、ORITOというアーティスト名で活躍している品田美里さんを講師としてお招きし、日本の伝統文化である和紙についての出前授業を行いました。前半は和紙ができるまでの様子を樹皮の実物に触れたり、映像を見たりして詳しく学ぶことができました。後半は、和紙4枚に折り目をつけて組み合わせ、ご飯で作ったのりで貼り付けて、作品が完成しました。光にかざすと透けて見える素敵な「透かし模様」が完成しました。

